

### あまでうす

#### 『金華山ウラ話』

標高三二九メートルの岐阜金華山山頂にそびえる岐阜城。(かつては、稲葉山と呼ばれていた)山麓には、名和昆虫博物館、岐阜歴史博物館、岐阜公園、伊奈波神社、護国神社、崇福寺、常在寺、正法寺大仏殿、そして、ナガラガワフレーバー、長良川デパート湊町店と、見どころも多々ある。

また、金華山には馬ノ背登山道、百曲り登山道、七曲り登山道、めい想の小径といった登山道もあり、山ガールの姿も多く見かける。ハイキングに至っては、東坂、大釜・鼻高、達目、唐釜、大参道ハイキングコースと、五つのコースがある。

個人的には、今までに足しげく利用したのは、金華山ドライブウェイである。若い頃の、彼女とのデートコースということもあり、このドライブ

ブウェイを何度走ったか数えきれない。それも夜に走ることが多かった。というのも、いちばんの目的は岐阜市街の美しい夜景を見ること。これが当時の若者のトレンドでもあった。展望台駐車場に車を止め、(他のカッブルが多いときは、車が止められないことも)夜景を眺めながらあれこれと話しをしていたものである。そして必ず、岐阜公園側から上り、岩戸公園側に下りるのである。それはなぜかは、あえて書かないが、ドライブウェイを一度でも走ったことのある人なら誰もが理解するはずであろう。

これも、金華山ウラ話のひとつかもしれない。さて、本題に入ろう。このような想い出のある金華山に関して、各務原市中央図書館で、金華山読本『金華山だより』を出版した講師の記念講演、『金華山ウラ話』が聴けることをチラシを見て知り、これは聴かねばなるまいと、定員に達する前

にさつそく申し込んだ。当日、図書館ロビーでの開催であったが、始まる前に『ウラキンカザンダヨリ』と書かれた、一枚のプリントをもらった。そこには、二十項目にわたってウラ話の見出しが…例えば、『山上巨大隠れ岩窟』、『幻の金華山山頂湧出! 金華鉱泉』、『禁断の非公式ウラミチ地図』などなど。何やらあやしげな気もしないではないが、面白そうなタイトルが並んでいた。そんな項目の中で、『華麗なる信長帝国、天空の石垣』や、『幻の滝三連爆をついに発見!』、『新説! 裏金華山に忍者の隠れ里が!?!』などである。二十項目すべての話を聴くことは、時間制限もあり聴けなかつたが、当時を懐かしく思い出しながら一時間半ほど聴いてきました。

ここで、講師のウラ金華山話を少しまとめてみることにする。『リス村にいるリスはタイワンリス!』…昭和十一年に岐阜公園を中心に『躍進日本大博覧会』が開催され、そのときに、見せ物としてタイワンリスが持ち込まれた。このリスが山中に逃げて野生化し、その後、調教をして、昭和四十年に『リス村』を開業したという。『金華山にライオンがいた!』…昭和三十五年頃、金華山麓の公園内に動物園があり、ライオンやペンギン、ワニ、ウミガメ、ペリカンといった動物たちが飼育されていた。この頃、学校の遠足で行ったことがあり、ライオンがいたことを何となく覚えていた。

『長良川交通公園があった!』…昭和四十二年に開業し、夏は流れるプール、冬は、アイススケートが楽しめた。夏に行ったことはないが、冬になるとスケートをしに友達と行ったものである。『山水庵 鈴虫茶屋』…長良川の南側に、岩

山を背に造られた和食の店があった。もう十年くらい前になるだろうか、この鈴虫茶屋に、味噌田楽を当時の彼女と食べに行ったことがある。流しそうめんもあったような気がする。今はもう無いというのを聞き、家に帰ってグーグルアースで調べてみると、確かに建物はない。

今回の講演は、新発見もあり、懐かしくもありと、心いくまで愉しんできました。帰るとき、金華山読本『金華山だより』という小雑誌が置いてあったのを見ていたら、「よかつたら自由に持って行ってください」と言われ、各種十冊ほどもらってきました。

年に一度、岐阜グランドホテルで講演会が開催されると、いつも聴講している。そのときには、長良川畔から金華山と岐阜城を眺めています。

# 風地蔵新聞

第175号

編集 白石美帆  
発行 風地蔵  
〒503-0922  
岐阜県大垣市馬場町85  
感想・エッセイ・おちま  
ご感想・俳句・おちま  
七歌短歌便り

### 福よせ雛

#### 鎌澤宣子

福よせ雛とは、各家庭で不要となったおひなさまに再び活躍できる場を作り、地域作りに役立てようという取り組みで、いつもは、ひな壇の上でおすまししている人形達が日常生活を送っているというユニークな発想で笑顔と福をよぶという意味で「福よせ雛」というのを、後で知りました。

2月27日、豊橋にある二川宿というところ、面白いおひなさまの展示していると言うことを、

たまたまお二人のお客様から、お聞きして、これは行くしかない、息子に頼んで連れて行ってもらいました。下道で行ったので、行きは4時間半かかり着いたのは、お昼を回っていました。最初「俺、そんな見たくないな」と言っていた息子も、その面白さにはまっています。

二川宿資料館では、昔の古い土雛や、菅原道真公や、市松人形、つるし飾りなど、多数の展示がしてあります。市松人形などは三・四才くらいの子供の大きさまもあり、圧倒されます。

中でも、一番奥に飾ってあったのが、たくさんのつるし飾りの奥に七段飾りがあり迫力満点です。次に、福よせ雛は、昔醬油問屋を営んでいた駒屋という商家の中に展示してあります。中に入るとまず目を引くのが、番台の上にお仕事をしてお雛様達です。そして中庭に行くと、庭の植え込みの中に、匍匐前進、一寸法師、白雪姫、掃除をしていたり、バスケットの試合、豊橋マラソン、手筒花火などなどいたるところに、お雛様達がいいます。「え!!! こんなところにもい

る」と発見があります。中には、マラソンの応援をしているブルゾンちえみとwith Bもいて、おもわず「なにこれ、おもしろい!!!」と写真を撮りまくっていたので、気がつくのと2時を回っていました。見ている飽きないのです、時間を忘れてリフレッシュしました。

愛知県の主婦達が冒頭で書いたことを考えて立ち上げたプロジェクトです。なので愛知県で主に開催されています。岐阜では、郡上八幡のほうでやっていたのを、二川宿にいった後知りました。来年は、郡上八幡にも観に行きたいなと思います。井川宿に向かう途中、有松絞で有名な

有松があり、帰りによつてといていた人です。けど、疲れたのと、高速で帰ってきたので、よれませんでした。

その有松でも、福よせ雛がやっているそうなので、ここにも来年は行ってみようと思えます。

お客様に、福よせ雛の話をしていたら、「風地蔵でも似合いそう!!! やつたらどう?」とアドバイスを受けました。初めは、1カ所だけでもしてみようかなと思案中です。どうなったかは、来年のお楽しみです。

今回は、どこに出かけた話になるでしょうか。では、次回又プチ旅を送ります。おわり

# お宮参り・ 日常の出来事

佐藤凱翔

3月4日、2人目の子となる武琉ちゃん誕生。そして二回目となる夜中のミルクとの戦いが幕を開けた。

パパとママで時間帯を決めママが24時までばばが24時以降となりいざ出陣！最初の2・3日はパパがなかなか起きられずママに起こしてもらい意識朦朧としながらもなんとか乗り越えることに成功。4日目頃からな

れて起きれるように。一生懸命泣いて起こしてくる武琉ちゃん、パパも一生懸命頑張るよ！

今では、ママも武琉ちゃんも夜泣きじゃ起きない！お利口さんなことで・・・武琉ちゃんが産まれて2週間ほど過ぎた頃走琉ちゃんも夜中ぐずるようになり「ママ〜ママ〜」と泣き、ママを探す走琉ちゃん。ママにかんする怖い夢でも見たのかな。

「パパ〜パパ〜」と泣いてくれているのに「パパ〜パパ〜」と泣いた方がいいのに、絶対「ママ〜ママ〜」と泣く。ママの特権なのかな。いいな。武琉ちゃんは「パパ〜パパ〜」と泣いてね。

次は走琉ちゃんのお話。武琉ちゃんが産まれ走琉ちゃん、どう成長したのかというと、まずイヤイヤ期に突入！

「ばばのところにおいで」「いやー」「まんま食べよう？」「いや！」「いやっ！」「まてまて〜！」「いっやつー！！」

ととりあえずいやなの走琉ちゃん。まあ可愛いけん許す！そして自己表現力が強くなった走琉ちゃん。

手を使い「あれとってこれとって」と・・・パパと同じちゃんは言うことを聞いてくれる。そう思っているはずの走琉ちゃん。ご飯を食べるときパパのヒザにきてパパの唐揚げをとるらんちゃん。シヨックを受けるパパを見てばあちゃんが一個多

めに唐揚げをくれるようになり。パパ一安心。パパのご飯からとりたいた物がなくなったりとき、必殺じいちゃんの元へ。「あれこれそれこれ」と指をさし、「とって」と。伝わらぬ泣く。すごい表現力。お姉ちゃんとしても成長した走琉ちゃん。「ねんね〜」とトンしてあげたり「ないないばー！！」としてガーンとつてくれる。走琉ちゃん。武琉ちゃん泣くと。パパと一緒に「会おうー」「会おうー」と犬みたいに吠えて武琉

「ひいばあちゃん」を迎えに。さ、人もそろったことだし。久留米の水天宮へ。走琉ちゃんの時より人が多い！！「こんなに多かつたかな〜」と思いつながらお宮参り初め。走琉ちゃんも武琉ちゃんも泣かずにお利口さんにして終えることが出来安心。最後に武琉ちゃんのおでこに赤い点を書いてもらい終了。

産後一ヶ月の節目。2人の子の父親としての自覚を持ち引き締めた日。昼からはうなぎを食べに行くことに・・・朝・夜はまだ寒いけど昼は暑くへとへの皆。おしいしうなぎを食べ力をつけて頑張ってくよ！

珍しくママもうなぎをがついて食べていて「うんきらいなはずなのに・・・味覚変わったのかな」ママ走琉武琉のために暑さに負けないようにきおつけよう。

おわり

# 川風

しらいしみほ

大ホールへと 吸い込まれる人々。人の流れに 押されながら 真っ赤な椅子が波打つなつかしい場所へ 足を確かめながら 下っていく。正面には座敷のセットが 赤い椅子に次々と座

ちゃんの元へ行きあやす事も・・・しつかり走琉ちゃんほっこりするなあ。4月1日武琉ちゃんのお宮参りへ。朝から子供劇場のわらべうたの会へ。一言で言うなら「もう少し楽しかったらな」。サークル代表のママは保育園にきたわらべうたの先生を呼んで欲しいとき相容れて会議してます。頑張れママ！！

走琉ちゃん武琉ちゃんのために、わらべ歌に言っている間に、ばあちゃんがいじいちゃんのお母さんる人たちを 眺めている。ダンナが座る「-29」のとなりへ 端の人の 膝頭を乗り越え 滑り込む。

運営委員のワツペンの人たちが 「携帯電話の電源をお切り下さい」のパネルを持ってあちこちに立つなつかしい光景に 演劇鑑賞会のお約束を思い出す。

全国にある市民劇場は、みんなで会費を持ち寄り、みんなで運営するサークルのなかま主体で、つくりあげ最高の舞台を願って 劇団を迎えるのです。会場内での飲食禁止。

上映時刻の1ベルが鳴るのを待って、立ち見席シールの人たちが空いた席へなだれ込む仕組み。公演のある月にサークルごとに 順繰りする席。10年間お世話になった、10年ぶりの大垣演劇鑑賞会と 違うのは

「福岡市民劇場」というなままと 上映回数だ。ふた月に1度の 公演（例会）で、ほぼどの公演も1週間公演あるのだ。日によっては朝夜2部公演。

福岡は北九州と飯塚の3つある。私達の会場はモモチパレスのみ。すごい。一つ前の舞台は仲代達矢さんの例会時点で、5860人規模。これでも以前よりはぐっと減っているそうだ。前置きが 長くなりま

したが、先日 おやこ劇場（こども劇場）に入会した。りおん&夫と 孫2人に負けじと。うちのGIも あたしと2人でこの 市民劇場に入ると 言いだしたんです。

ビックリ文化人に目覚めた発言ができる。うちのGIってすばらしい〜その初日が きのうの舞台。劇団文化座による公演「三婆」 でした。

突然亡くなった社長の本妻と愛人と妹が 3人ばあさんで暮らし始める有吉佐和子原作の舞台でした。大垣でも 次は佐々木愛さんよ〜たのしみ〜と名の高い主演の佐々木愛さんでさえまったく知らない GIとあたし。

文化座の演技のうまさ に スツと引き込まれる2人です。おもしろかった！としか言わないGIに なんとかしゃべらせようと 帰るなり聞き出すりおん。

「次の舞台が どうかは知らんぼってん、また観たい」と言った。出だし上々。役者が みんなうまかった。こぎゃん人おるおる。さいごは しんみりするが ずっと笑つとつたぞ。こいつは 最後の 庭のシーンで泣いとつたぜ！

それは 朝のことでした。らんちゃんも 庭で洗濯物を干しているところへ 今日から始まった 市議会議員選挙の 選挙カーが あちこちから名前だけを 何度も連呼して代わる代わる聞こえてきた。

そこでこの 舞台のラストシーンが重なった。舞台の選挙カーからは 舞台の選挙カーからは 元気のいい幸せな老後生活をして！と声高々な スピーカー。

この舞台上の 年代よりも 明らかに年上の周りの人からは笑う 声すら聞こえてきた。こんなこと へっちゃらさと 余裕なんかなく。そうそうこの通りと あきらめあきれてるのかな。

年金を 少ない給料からさつ引かれ まさか 老後は安泰と思つてた 生活にかかせないくらいのお金を少子化で大変な今、若い世代に回せ、我慢しろと いう世の中。我慢しろと いう世の中。我慢しろと いう世の中。我慢しろと いう世の中。

選挙カーってなんなんだ。選挙ってなんなんだ。だれが 世の中をこんな風にした。誰が世の中をつくっていくんだらう。

テレビに出てる人たちに ながされ 決められるんじやなくって じぶんたちで つくっていく世の中なんだって 私達隅々まで届けるリーダーがいらない。

どうせ 自分の声なんて届かないんだ。 そうだらうか。おばあちゃんたちの かなすかな笑い声の真ん中でラストシーンは 泣けて泣けて仕方なかった。

ダンナちゃん 次は どんな舞台だらうね。

### ちよつと立ち話

新聞よかったよ！本音で書いてあるのがいい。社長さん、いい男つかまえたよ。  
娘さんのダンナさんもいい子だし、他の店ではないよ。  
(松原さん)

かまちゃんの旅話も終わってまったね。さみしいよ (お琴の森先生)

いつも新聞ありがとうございます。九州のことよく関わっていますね。私も柳川出身です。いつもあれだけかわれず、すごいですね。(カメラをかかえて水門川の桜をとっていた男性の方)

店長のご主人から電話がかかってきたときは、私は近くにいたので会話を聞いています。何回かみかけたことはあっても、話をまともにしたことがないので、電話から聞いている声が最後になると

は思いませんでした。なのでその時の店長の様子もよく覚えています。次の日、メールでなくなつたと送られてきたときは、なんとも言えなかつたです。

出産大変でした。私も1人産んでいます。破水というよりチョロチョロでているって感じだったので「なんだ？」と行って過ごした日を思い出します。

梅の写真を見せて頂きましたが、一面とりどりの梅で本物がどんなものか見てみたいと思いました。

時計は本当に精密機械。大切な時計であればあるほど簡単に触らせないと。高級時計の中を見せてもらったことがあるけど、芸術品です。(原)

本当に早いですね。もう店長のご主人が亡くなつて1年になるんですから。あの時は、急でしたのでビックリしました。

社長から「どうしたらいい」と救急入院されたとき電話があつたことを思

い出します。白石家もお二人目のお孫さんの誕生で、そしてお引越と嬉しいバタバタでした。

先日久々にあまでうすさんが風地蔵に来て下さいました。店内を何度もぐるぐるまわられ時計作りのヒントにとみていらつしゃつたのが印象的でした。  
(大橋)

社長、隆男さん、凱翔君、りーちゃん第二子出産&引越しおめでとうございます。

りーちゃんから、出産の報告があつたとき、電話に出るなり「おめでとう！」といったら「なんでしつとると！はや！」といったのを思い出しました。

梅の写真見せて頂きました。来年は絶対見に行きます。長沢芦雪わたしも見に行つてきました。圧巻でしたね。

奥田さん卒業おめでとうございます。遠い昔のことのように思います。あまでうすさん、先日

はありがとうございます。時計作りのヒントはみつかりましたか？新作楽しみにしています。(鎌澤)

原先生、もう看護師みたいですね(笑)ならついても、突然に傷病者があらわれたらパニックになるとおもいます。常に、そのような現場に遭遇してらなればついでしようけど

でも、知識が無いのとあるのじゃちがいますしね！！そうでしたよね！らんちゃんの時と違つていろんな事がビックリでした。

大橋さん、それはちゃんと聞いた方がいいと思いますよ。確かに娘さんの気持ちは分かりますがお母さんのレベルを下げてしまふということ。

体も丈夫で、頭もクリアなら訪問介護をしてもらつたほうが私は良いと思います。それか介護付き住宅にはいるとかですね。

杉原先生つて方が言うように、もう施設に入れてしまつたら大半の家族は滅多に来られませんか。見ている方も悲しくなり

ます。というか、全部の施設が良いとは限らない。大橋さんができることは、おばちゃんが笑つて暮らせる施設がみつることではない、おばちゃんのリベルを維持でき、本人の尊厳を優先させてあげることですよ！

娘さんに言うのは難しいかもしれないけどがんばつてあげてください！！いまの時代があるのは、おばちゃんたちのおかげ。年をとつたら働かなくなつたら若い者にいい扱いはれるのはかわいそすぎる・・・

私も、お母さんに「鎌澤さんの旦那さんが亡くなつた」と出勤してからすぐに連絡があり、らんちゃんを連れて大垣に行つたのを思い出します。

鎌澤さん、そのひな人形展楽しそう！！うちも見てみたーい。そうそう産まれてすぐ分娩台の上で鎌澤さんに電話したのにお母さんにこされててショックやつた(りおん)

### おばちゃんの気持ち

大橋 美紀

先日母から電話が入った。私は「どうした？」と聞くと「名古屋の姉ちゃんが施設に入るんやつて」と返つてきた。ずつと、おじちゃんが倒れてから3年間、寝たきりになつたおじちゃんの介護を自宅で見ていたおばちゃん。去年の九月に、おじちゃんも亡くなり大都会の真ん中で目の当たらない家で一人暮らしをしていました。

おじちゃんが亡くなる前に、母とおばちゃん家に行ったときは、90才のおじちゃんの世界をする82才のおばちゃんを見て、老老介護を目のあたりしにし、ため息をつきなから帰つてきた。そしておじちゃ亡くなつた後、母と言つたときは、おじちゃんのことを思い出すと泣き出すおばちゃんのと、一人になつてしまつたおばちゃんを思うと仕方がないと思ひながら帰つて行つた。

それから、おばちゃんは一人で食事をし、天気の良い日はお散歩をしと暮らしていたのですが、ある日自分で救急車を呼び、病院へ連れて行つてもらったこともあつた。

すぐに帰れたのですが、ちよつと気分が悪くなつたと言うことだつた。おばちゃんには私より10才以上上の娘さんがいらつしやいます。子供は娘さん1人です。しかし、なかなか実家にこれないみたいで、やつぱり1人での生活は娘さんも不安だと言うことなんですよ。足腰も丈夫で、頭もしっかりしているのにも思いますが、何かがあつてからではと云うことなのでしょう。

おばちゃんは「行きたくない」と言っているそうです。今、まだ施設を探している状態です。が、受け入れるところがみつければ、すぐに入れるというのでした。今までは、自宅の電話で、毎日のように4人いる妹の所に電話をしたり母達も「何しての？」と気軽に電話をしてたのですが、それもできなくなる。

母達は、姉妹であつても家族ではないので何もうことができません。

一番寂しいのはおばあちゃん自身です。ね。風地蔵によく来て下さつてお話をさせて頂くと知り合ひの方や、友人が施設に入つていますが、やつぱり施設に入っているからという

安心感から家族は、本当にこないよという安心感からか、家族は本来にこないよといわれていました。

杉原先生は、その方達を助けるうちへと、よく会いにいかれるそうですが、見ていると強く思われるそうです。今、本当に同居することが減つてしまつてこうやつて親が年をとる1人になつてしまつたら、子ども達はどう自分たちの生活があると施設に入れることも増えている。本人の気持ちも尊重してもらえないことも無くなつていく。

今まさに、おばちゃんがその状態です。おばちゃんの気持ちにはきつとずつと家に行きたい施設に入りたくないと、毎日思つていられるでしょう。

母達も複雑な気持ちでいるでしょう。私が今のできることは、おばちゃんに会つていておばちゃんが笑つて暮らして

### お便りします

いける施設が見つかることを願つていける。

春の花が咲き誇れる嬉しい季節になりました。何時も楽しい新聞をお届け頂

きありがとうございます。白石、佐藤家の節分の様子、甘えん坊になつた「らんちゃん」の様子が見えるようです。明るく楽しい御一家の倅を心から祈り致します。

鎌澤さんの素敵なポチ袋早速挑戦しました。孫娘の卒業旅行に鶴のポチ袋、大変喜んでくれました。女子会の方々に楽しんでもらえると今からワクワクしています。(筑紫野市 松尾さん)

こんにちは。桜満開は波シーズン、良い季節になりましたね。馬場町の方では桜いかがですか。

花を見ているだけで心も桜色に染まりそうです。先日からは、お便りありがとうございます。今回は、教室の方新聞3人、私も入つて恥ずかしいです。良い季節元気で楽しい日々をお過ごし下さい。かわいいポチ袋ありがとうございます。(太宰府市 人見さん)

いつも風地蔵の新聞、楽しく読ませて頂いています。皆様の活動には感動するばかりです。

凱翔さんの「節分の出来事」や李恩ちゃんの「大きくないれ」を読んでもらんちゃんに對

するパパやママ、おじいちゃんやおばあちゃんの御家族愛が、目に見えるように伝わってきます。素晴らしい御家族ですね。

大橋美紀様のいなり寿司の作り方は、私は寿司が大好きです。とても興味がありうんうんとうなずきながら読ませて頂きました。ありがとうございます。

鎌澤様にはお手紙ときれいなポチ袋まで同封して頂きありがとうございます。(筑紫野市 萩尾カネ子さん)

お便りと新聞いつもありがとうございます。このところ少し忙しくてお返事も差し上げず失礼いたしました。いつもながららんちゃんのパパ、ママ、ジージ、パーバの大きな愛がみえるような文章ですね。子供には、たっぷりの愛情が何より一番です。

ね。春といえまだ、朝晩はまだ冷えますのでどうぞお体大切に。(春日市 村山さん)

新聞いつも楽しく読ませて頂いています。ありがとうございます。(筑紫野市 萩尾ヨミさん)

